

開放骨折の術後感染リスクファクター分析 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 30 年 4 月 18 日 ～ 平成 30 年 12 月 31 日

〔研究課題〕 日本骨折治療学会運動器外傷データベース [Database of Orthopaedic Trauma by Japanese Society for Fracture Repair (DOTJ)] を利用した開放骨折の手術部位感染リスクファクター分析

〔研究目的〕 日本における四肢長管骨開放骨折の治療成績の向上を目的とします。

〔研究意義〕 治療成績の向上の検証に利用します。

〔対象・研究方法〕 四肢長管骨開放骨折の手術データや骨癒合、感染の有無、機能障害の程度などをデータベースに登録し、それを利用して統計解析を行います。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部救急医学講座（外傷センター）

〔個人情報の取り扱い〕 四肢長管骨開放骨折にかかわる診療情報のみが登録されます。氏名、住所など個人が特定される情報は登録されません。情報は暗号化された番号で登録管理されます。登録期間は3年間で、研究終了後に診療情報は破砕後破棄します。

〔その他〕（健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。）本登録研究の実施に際して、個人に不利益や有害事象が生じることはありません。また、たとえ参加されなかった場合や途中で参加を取りやめた場合でも、今後の診療に何ら不利益を被ることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：新藤正輝

研究分担者：黒住健人、鈴木卓、石井桂輔、茂木沙織

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-7256(代表) [内線]